

(参加者感想より)

アベ首相は被災者の苦しみを考えたことがあるのだろうか。原発再稼働は絶対やめて!

「福島を忘れない! 3・9市民のつどい」に92名

「市民のつどい」に地元紙も注目!



福島原発事故から8年。原発ゼロ長岡市民ネットは事故以来毎年3・11前後に「市民のつどい」を開催してきました。今年は3月9日(土)に長岡市立中

央図書館で、ドキュメンタリー映画「あやまれ つぐなえなくせ原発・放射能汚染くいわき市民と避難住民のたたかい」を上映しました。

映し出される原発被害の実相と裁判に立ちあがった人々の思いに、会場は静かな怒りと共感に包まれました。10日付新潟日報は「原発事故の影響で避難を強いられるなど住環境の変化に苦しみ、『元の暮らしに戻りたい』と訴える人々の姿に、参加者はじっと見入った。」と伝えてい

ます。今年もNさんから福島事故以来続けてきた毎日カンパの硬貨が詰まった缶(写真左下)が届けられ、会場では他にも自主的なカンパが寄せられました。



原発ゼロの歌



手作りカンパ缶

【参加者の感想より】

努めて冷静に話す被災者の言葉に悲しみや憤りの深さがにじんでいて胸が熱くなった。裁判を通して求める目標が崇高で、ぜひ実現させるよう応援したいと思った。それにしても国や東電が原発事故に真摯に向き合おうとせず無責任だということがよ〜くわかった。

原発を推進してきた国も、原発を動かし経営してきた東電も、いざ事故があれば被災者(被害者)には寄り添わない。これが実態! とても許せるものではない。福島の問題にとどめず(ひとごとと思わず)自らのこととして原発ゼロの行動と運動を広げることが大事だと思う。

テレビで時々福島の実情を見ることがありますが、今日の映画をみて、こんなに被災者が冷たい状況にある本当の姿を知ることができました。原発事故は絶対にあってはならない。そのために原発はなくすことがいちばんです。

原発再稼働ストップの 県議会の実現を!

いま新潟県議会は、原発推進の自民党・公明党が66%の議席を占めています。どの世論調査でも県民の6割以上は再稼働に反対で、議会とのかい離があります。知事が原発推進勢力の支持を受けて誕生した状況の中で、「再稼働反対」の議員を過半数以上にするのがとりわけ重要になっていきます。力を合わせて「原発再稼働ストップ」の県議会にしましょう!

事故から8年一福島原発の今は?

- 大量の核燃料デブリ
 厳しい放射線環境の中、数センチの小石状のものをつまんだが、溶岩状の非常に固い塊が大量にある。
- 核燃料プールからの使用済み燃料取り出しはトラブル続きで遅れが。
- 増え続ける汚染水。
 処理を終えた放射性汚染水の8割が基準を上回り再処理が必要。
- 足場の落下など施設劣化進む

- 【4月の街頭行動のお知らせ】
- ☆4月11日(木) 4時半〜
- ☆アオーレ長岡前に集まりましょう。

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第87号 2019年3月18日発行

連絡先

広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707